

市民ネットワーク 市議会報告

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com

2023年
10月26日発行



五十嵐ともみ 伊藤とし子 松島こずえ

8月市議会 (8/28 ~ 9/26)

市民の力で市立佐倉幼稚園を存続！

突然の閉園方針案

今年3月、園児減少を理由に2023年度で佐倉幼稚園を閉園すると保護者に知らされ、5月に教育委員会が閉園方針案を出しました。驚いた保護者たちは記者会見を開き、閉園撤回を求める要望書の提出や署名集め等に奔走。市民ネットは閉園の撤回を求め、6月議会で質問しました。

市は反対の声を無視し、閉園する条例案を8月議会に提出。常任委員会の審議では賛否が拮抗。紆余曲折の末、市議会の最終日に閉園撤回の対案が出され、賛成多数で可決。

市民が声を上げ動いたことで、佐倉幼稚園を残すことができました。市は今回のような強引なやり方を猛省する必要があります。

公立幼稚園の役割とは…

佐倉幼稚園の周知等、園児を増やす対策をほとんど行ってこなかった市の姿勢は問題です。佐倉幼稚園は支援の必要な子を受け入れ、寄り

添った保育を行ってきました。本来はそれが公立幼稚園の役割です。

市は、公立幼稚園の役割は終わったと答弁してきましたが、これからは私立幼稚園とも連携し、インクルーシブ保育をはじめ、幼稚園教育全体の質的向上に努めるべきです。学識者や保護者等の第三者をメンバーに入れた検討会を立ち上げ、今後のあり方について、十分協議するよう、引き続き要望していきます。

→2024年度の入園児募集が始まりました。



願書配布 令和5年10月16日(月曜日)～令和5年11月7日(火曜日)
受付期間 令和5年11月1日(水曜日)～令和5年11月7日(火曜日)
(注意)土曜日・日曜日、祝日を除く
期間終了後は要相談

安心できるコロナ対策を

5月からコロナ感染症が5類に移行し、県や市の医療対応や相談体制が変わりました。そのような中、8月に入り感染者が急増。感染した市民から「コロナがインフルエンザと同じ扱いになったけれど、高熱の期間が長く、すごくのどが痛くて救急車を呼ぶほどだった。」とのこと。症状

が重く、助けてくれる人がいない高齢者や、一人暮らしの市民が相談できる市独自の支援体制が必要と質問しました。市は、電話相談や状況に応じて医療機関の紹介を行っていることと答弁。5類になっても安心できる相談対応を求めました。

マイナ保険証はいりません！

トラブルが続発しているマイナンバー制度。コンビニ交付の誤発行、公金受取口座の誤登録、マイナ保険証の別人にひも付けなど。しかし、国は従来の保険証を廃止し、マイナ保険証か、資格確認証にしようとしています。

国はマイナ保険証のメリットとして「救急時に受診や服薬の情報が分かり、迅速に的確な治療が受けられる」と言っていますが、院内処方が入っていません。また、1カ月前の情報しかわかりません。マイナ保険証よりもお薬手帳を見たほうが早い、というのが現場の医師の声です。

また、すべての病歴やかかった医療機関まで、患者の情報が第三者にあからさまになる影響が今後どう表れるか、誰もわかりません。さらに来年秋には介護保険証との一体化も計画されています。自分の情報は自分で守る「書かない番号、持たないカード」が一番です。

市民ネットワーク 議会報告会

どなたでもお気軽にご参加ください。



11月3日(金) 13:30～
スペース結 (王子台1-26-7)

当日連絡先 TEL 043-497-3555

香害問題

給食の白衣にも香料が…

柔軟剤、洗剤、消臭スプレー、シャンプー、整髪料などの香料で、化学物質過敏症を発症したり、アレルギー、喘息、頭痛などの症状が出て苦しんでいる人が年々増えています。ご近所から漂ってくる洗剤等の匂いに悩んでいる人もいます。

特に教室では一人ひとりが付けて来るいろいろな匂いが充満すれば、体調不良になったり、登校できない事態も出てきます。また、香料のついた給食の白衣も、当事者にとっては深刻です。希望者には予備の白衣で個別対応することを、議会質問で確認しました。気兼ねなく申し出てください。



佐倉市は公共施設、学校等で「香料自粛のお願い」のポスターを貼って周知に努めています。

市民の権利が奪われる!?

8月議会で、議会運営委員長から「陳情の取り扱いの見直し案」が出されました。従来の陳情は、議会に対し、市民からの意見や提案ができる制度です。市長が提出する議案と同じように常任委員会で審議し、賛否をとります。ところが「見直し案」では、市政に関する陳情は議員への陳情書配布にとどめ、審議をしないというものです。

今議会に、公立幼稚園を閉園しないでほしいという切実な陳情が、入園を希望する保護者から出されました。しかし、「見直し案」が通ってしまうと、このような陳情が、議員への配布のみですまされてしまいます。市民の権利である陳情を制限する提案には、強く反対します。

ここが問題 2022年度決算

昨年度決算は約24億円の黒字となりましたが、約16億円は基金を取り崩した一時的なもの。基金がなければ黒字は実質約8億円です。見かけ倒しの黒字も問題ですが、税金の使い方にもっと大きな問題があります。

大型公共事業が目白押し

ふるさと広場から草ぶえの丘に抜ける飯野Ⅱ-31号線は、山林を切り崩す約9億8千万円の道路建設事業。岩富・寺崎線の道路延伸は2.2kmに約40億円。いずれの事業も用地買収の見通しが立っておらず、今後どれだけ増額するか分かりません。里山自然公園(旧(仮称)西部自然公園)、ふるさと広場拡張整備事業も、何に使うのか具体的な計画が示されないうまま、用地買収に多額の税金を使おうとしています。

歴博入口横の土地は、市が2020年に約8千400万円かけて購入。地盤が緩く水はけの悪い土地で、約1400万円かけて整備工事が行われました。購入後、未だに何の活用もされていません。



歴博入口横の土地 10/10 現在

新佐倉図書館(夢咲くら館)は建設等に約37億5千万円。3月に開館しましたが、地下化や建設工事業者の選定に関する疑義、隣接する家屋とのトラブルなど、多くの問題を起こしてきました。今後も危険な出入口など、問題は続きます。

市民には値上げを強いているのに

昨年度は、住民票等の手数料や、公民館等の公共施設使用料が値上げされました。コロナ禍や物価高騰で市民生活が苦しい中、水道料金も値上げに。さらに、今まで市が負担していた生活保護世帯の上下水道料金の減免制度も廃止されました。市民に直結する料金を値上げする一方で、大型公共事業に多額の税金を使うことは、子育てや福祉にしわ寄せがいきます。事業を見直し、市民の福利向上に予算をしっかりと振り向けるべきです。

8月市議会の採択結果

市民ネットワーク提出 意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明	自民 さくら	共産	無党派 の会	公開と 改革	
「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の理念にのっとり具体的な貧困対策の早急な実施を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	×
A L P S 処理汚染水の海洋放出強行に抗議し、直ちに中止することを求める意見書	×	○	×	×	×	○	宇田○ 三井×	稲田○ 高橋×	×
(敬称略)		伊藤 五十嵐 松島	櫻井、為田、平野 敷根、密本、望月 高木、村田 斎藤(明)	押木 鍋田 長谷川	山本 徳永 石井 齋藤 橋岡	木崎 石井 (昇)	宇田 三井	稲田 高橋	三谷